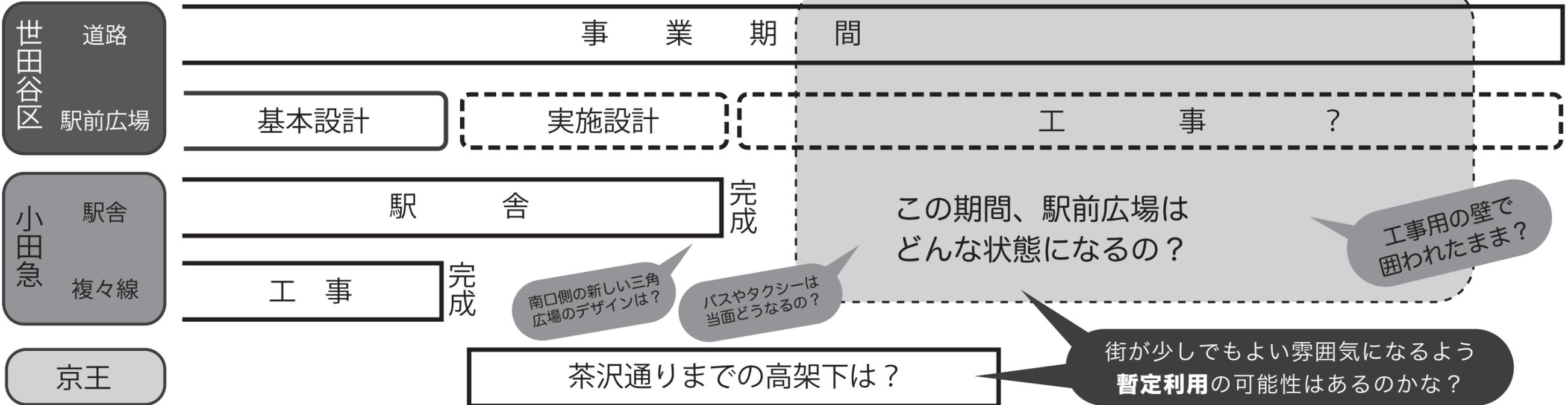


年度	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33
----	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------



工事中の暫定利用の可能性

シモキタの駅周辺の工事、多くの街のひとが「いつまで続くのかなあ？」と思いながら眺めています。わたしたちが、6月に街角でシールアンケートをしたところ、多くの方々が、駅前が今後どのようなようになるのか実際の工事計画や完成形を知らないまま、なんとなく日々気にかかっている、ということが感じられました。

平成30年度末に、小田急線下北沢駅の駅舎が完成する予定です。そして、その完成後、駅前広場の工事が本格的に始まると思われます。その工事が終わるまで、駅前広場は工事用の仮囲いで覆われたままなののでしょうか？駅前広場、そしてそれに接続する道路の工事は平成33年度末までが事業期間とされています。

工事中であってもその進捗に合わせ、駅前の空間を部分的に、暫定的に、街に開放してもらえることが可能なら、わたしたちの日常の空間はより豊かになり、またシモキタを訪れるみなさんにも、よいイメージでシモキタをたのしんでもらえるのではないのでしょうか。

シモキタらしいたのしい場所をつくっていくために、工事期間の暫定利用に大いに期待したいです。

そして、その暫定利用のアイデアを、わたしたち駅広部会は提案していきます。

暫定利用—仮囲いの演出

仮囲いは少ない方が良いと思いますが、もちろん工事のために必要なものです。ならば、それを白い壁のままにせず、シモキタらしい演出でお化粧してみてもどうでしょうか？

緑の演出

近年、都市の緑化デザインの中で壁面緑化が注目されています。仮囲いや換気塔を緑の壁にしてしまえば、街への見え方もずいぶん変わるのではないのでしょうか。駅ナカの壁にも応用できるかもしれません、小田急さん！どうでしょうか？

アートの演出

さまざまなカルチャーがあることも、シモキタの魅力のひとつ。街中に目を引く壁画があれば、ふと立ち止まり写真に撮ったり、豊かな空間づくりが出来るのではないのでしょうか。

暫定利用—ベンチでちょっと休憩

工事に伴って更地にされ、一定期間使われないちいさな空間が生まれています。その場所にベンチと少しの植物を並べて、街歩きの途中に腰掛けられる空間をつくるのが可能です。さまざまな世代のひとがそこを利用できるように演出することで、シモキタらしい、ちいさなコミュニケーションがたくさん生まれていくことでしょう。

暫定利用—車道予定の場所を芝生に

工事期間中、シモキタスクエアに変わる広場がきっと必要です。普段ちょっと休んだり、おしゃべりしたり、またイベントが開けるような空間です。ある程度の広さを確保することは、現状なかなか難しいと思われます。そこで街路第10号線の予定地を暫定的・部分的に利用出来ないのでしょうか？そして、車が入れる構造を確保しながら表層を芝生化することで、駅前に開放的な芝生の空間が演出できます。これは、駐車場緑化の技術を応用することで実現が可能と考えられます。

シモキタテーブル vol.1

発行：駅広部会—北沢 PR 戦略会議 2017.09.10
<http://shimokita-table.com/>

小田急電鉄のHP「シモチカナビ」で工事の詳細を知ることができます。どうぞ、ご参考に。
http://www.shimochika-navi.com/99_backnumber/index.html

このペーパーでは、工事の状況を知っていただくために駅前広場より少し広い範囲の課題を取り上げています。街の課題には、工事中の状況であられるもの、完成した後にあられるものなど、様々な場面が考えられます。それぞれの場面の詳細をここではお伝えできませんが、HPでは具体的なイメージも交えながら、発信していきます。

一緒に考えつくるために

街づくりは、市民、地元商店街、行政、企業などさまざまな立場のみなさんが関わるほど、豊かな成果が期待出来ると思います。これまでの経緯や整備ワークショップ提案書などを踏まえながら、より多くの立場とつながることをめざし、駅広部会は活動を続けていきます。